

【別紙様式】

平成28年度 津山市立高野小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み		算数A・・・基本的な計算、図形、割合の領域において課題がある。 国語A・・・漢字の読み書き、問題文の読み取りに課題がある。 算数B・国語B・記述問題において課題が大きい。考えを論理的に説明する力に課題がある。（無解答率は低い）
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	①問題データベースを高野タイムで全学年、週1日学年一斉の実施日を設けて取り組む。 ②問題データベースを授業中や家庭学習を活用する。	A	①高野タイムで全学年、週1日算数のデータベースの問題を解いた。（100%） 達成率が低い問題は、解説や間違い直しを徹底できた。（3学期） →来年度は、高野タイムを漢字学習に使うため、授業中や家庭学習で活用する。各学年、学期毎に5枚程度「データベースこれだけは！（国語・算数）」を設定し、学校全体で取り組む。 ②他教科は授業中や家庭学習で積極的に活用する。
①	高野小授業規律を徹底する。 （チャイムスタート・あいさつ・話し方・聴き方・姿勢）	A	○チャイムスタート・あいさつは全学級でできた。（100%） ○話の聴き方は全校で取り組み、成果を上げた。来年度は、4月から全校で共通実践したい。さらに、話し方についても共通実践を行う。 ○話し方、聴き方とも、1ヶ月単位で確認・修正を加えながらさらなるレベルアップを図りたい。
②	高野小学習のスタンダードを徹底する。 （めあて・まとめ・書く活動・学び合い）	A	○めあて・まとめを意識した授業は全学級でできた。（100%） ○来年度、確かな学力をめざすための主体的な学びを視点に研究を進める。 ○記述式問題が低い。授業中、自分の考えを書いたり説明したりする場面を多く設定する。（4月から校内研修で取り組む）
③	①高野小漢字テスト上・下（年間2回）、計算ぐんぐん（年4回） →達成率90%以上をめざす。 ②家庭学習の充実を図る。	B	①国語A（漢字の読み書き）、算数A（基礎的な四則計算）が県平均を超えるため、達成率90%をめざし、全校で徹底して取り組む。 ②取り組み方（ていねいに・自分の力をつけるために、直し方）など、職員研修を行い、共通理解しながら粘り強く実践を重ねる。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」